



先月に続き、今日もパラパラしています。傘をささなければならぬほどではありません。黄色いミヤコグサの花やツバメの鳴き声、舞い上がるヒバリの囀りが季節の変化を感じさせてくれ、どんな出会いがあるか期待を持って歩き始めました。



ウヅキ
コモリ
グモの
めすと
子グモ

体長8
ミリくら

いで地上を歩き回って獲物を捕らえます。この季節に草地に踏み入れると、めすが孵化した子グモを背負って歩いているのに出会います。その生態は正に「子守グモ」です。



ナワシロイチゴ

木イチゴの一種。桃色の花卉の先から雄しべや雌しべがのぞいています。果実は橙色から赤く熟す。



アシブトヒ
メグモ

体長3ミ
リくらいで、細かい不規則な網を張っています。糸には粘球

がついています。子育てをすることが知られていて、丸くて白い卵のうを上顎で銜えて保護し、この期間は獲物がかかっても無視するそうです。孵化する時期が迫ると卵のうに噛みついて穴を開けます。孵化後3日目くらいから親が餌を与えるようです。



カイガラツヤカスミカメ

体長7ミ。肉食性のカメムシの一種で、コナラにいて樹液を吸っているオオワラジカイガラムシを獲物にします。



ベニヘリテントウ幼虫

オオワラジカイガラムシを獲物にするテントウの幼虫です。獲物にするカイガラムシによく似ています…



…左はオオワラジカイガラムシの幼虫です。

(左)ベニヘリテントウの成虫は5ミリくらいですが

獲物のオオワラジカイガラムシに比べると半分以下の大きさです。



オオワラジカイガラムシの受難
イネ科の葉に突き刺さって
いました。強い風に吹き飛ば
されての事故でしょうか？



シロオビ
アワフキ
幼虫

セイタカ
アワダチソウ伸びていますが、あ
ちこちで泡がついているのに出
会います。泡の中で生活するカメ
ムシの仲間の幼虫です。



スイカズラ

歩いている、とよい香りが
漂ってきます。花は白から
黄色に変わります。蜜を吸
うところからの名前です。



ナカグロクチバ
幼虫はタデ科
やトウダイグサ
科などを食べま
す。



**サメハダツブ
ノミハムシ**
体長1ミリ。アカメ
ガシワに小さな
食痕をつけます。



ハナバチの一種が集団で飛び
回っていました。花蜂の仲間
は蜜や花粉を集めて幼虫の餌
とします。ミツバチやハキリ
バチ、クマバチなどがあります。
クマバチは枯れ木に…



…穴を掘りますがこの蜂は
乾いた地面に5ミリほどの穴を
開けていました。顔面に白斑
が有るウツギヒメハナバチの
おすです。おすは10ミリくら
いでめすは一回り大きい。



ヤマハゼ

黄色い花は柑橘系のよい香りが
漂ってきます。ウルシの仲間な
ので注意が必要です。葉には細
かい毛が生えていて、秋には美
しく紅葉します。

植物 セイヨウミヤコグサ、ニワゼキショウ2種、オオジシバリ、ハルジオン、ヘラバヒメジヨ、ブタナ、ニガナ、コメツブツメクサ、スイバ、カナビキソウ、オオイヌノフグリ、アヤメ、ノビルむかご、クレマチス、ノイバラ、スイカズラ、テイカカズラ、ヤマハゼ、ノシバ、タチスゲ、アゼナルコ、イネ科いろいろ、ネザサ花、ワレモコウ実生、ノウゼンカズラ実生、ナワシロイチゴ、ニセアカシア、オオムラサキツツジ(ヒラドの一種)、イボタ咲き始める、ソヨゴ花蕾、ウメ実、ミヤマガマズミ実、ヤマモモ実、オニグルミ実、**昆虫** ヒメウラナミジャノメ、ナカジロクチバ、ヒメハマキガの一種、ウメエダシヤク幼虫、ナシケンモン幼虫、ニトベミノガ幼虫、オビカレハ幼虫、ゴマフシロハビロキバガ幼虫、ヨトウガの一種幼虫、不明ヨトウガ幼虫、キリギリス幼虫、ヨコズナサシガメ、クヌギカメムシ、カイガラツヤカスミカメ、シロヘリカメムシ、マルカメムシ、シロオビアワフキ幼虫巣、マツアワフキ巣、オオワラジカイガラムシ幼虫と雄成虫、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ、ナミテントウ、ベニヘリテントウ幼虫、コイチャコガネ、ウスチャコガネ、サメハダツブノミハムシ、すぐりゾ大虫、クズノチビタマムシ、アカハネムシ、ヒメクロオトシブミ揺籃、ウツギヒメハナバチのコロニー、スズメバチの一種、セグロアシナガバチ、アミアアリ、ウメマツオオアリ、トビイロシワアリ、アリ地獄、イスノキとサクラの虫こぶ、**クモ** チュウガタシロカネグモ、クサグモ、アシブトヒメグモ、アシナガグモ、ハマキフクログモ？、ウヅキコモリグモ(子を背負う)、ヤマシロオニグモ、クモの団居、**鳥・その他** ツバメ、ヒバリ、カワウと死体、コジュケイ声、メジロ囀り、コゲラ声、カワラヒワ声、キビタキ声、ニゴイ、アマガエル声、イセノナミマイマイ、プラントン増える **次回6月9日(木)午前9時30分水資源機構P前・雨天中止参加費100円**